

研究課題名：喀痰検診 C 判定（中等度異型）の経過観察を契機に発見された肺癌と C 判定の亜分類の検討

本研究は、公益財団法人ちば県民保健予防財団倫理審査委員会の承認を得て、理事長が許可した研究です。当施設では千葉県内の肺癌検診喀痰細胞診（一部市町村を除く）を実施させていただいております。喀痰細胞診 C 判定（中等度異型）の受診者に対しては経過観察を行っておりますが、そこから発見された肺癌は I 期癌の比率が比較的高く、胸部 CT 検査無所見肺癌が含まれていました。喀痰検診における早期肺癌の発見率向上を目的に、C 判定から発見された肺癌と C 判定の亜分類について解析します。

【対象と方法】1995～2009 年度の喀痰集検受診者 122,504 例を対象に、集検時の各判定 C6M：中等度異型（経過観察 6 ヶ月）・C3M：強めの中等度異型（経過観察 3 ヶ月）・D：高度異型・E：癌 から発見された肺癌を 4 群に分類し、判定比率、癌発見率、病期、組織型、発生部位、癌確定までの期間を比較します。また集検の細胞観察が可能であった C6M 35 例・C3M 18 例・D 32 例の蓄痰標本 1 枚に出現した中等度異型以上の細胞の解析を行いません。

本研究における個人情報等の扱いは以下の通りです。

1. 本研究はデータのみを収集する疫学研究であり、本研究のために新たに人体試料の採取は行いません。
2. 受診者の皆様の個人情報を削除した上でデータ分析を行います。
3. 研究の成果は学会や学術雑誌等で公表する予定ですが、個人が特定できる情報を公表することはありません。
4. 本研究の主任研究者および分担研究者は、本研究に関して利益相反はありません。

本研究にご自身のデータが利用されることについてご同意を頂けない場合等は、お問い合わせください。

研究責任者

検査部 病理・細胞診断科 科長代理 田口明美